

アニメーション特集「動かす世界だ！アニメ、アニメ、アニメーション」…海外のアニメーション

■上映作品

つみきのいえ

La maison en petits cubes

(12分3秒/日本/2008)

海面が上昇したことで水没しつつある街。「積木」を積んだかのような家に暮らしている老人。海面が上昇すると「積木」を積むように上へ上へと家を建てていく。ある日、お気に入りのパイプを海中へと落としてしまう。パイプを拾うために海の中へと…。
 地球環境、高齢化社会、人生の大切な事を考える作品。
 第81回アカデミー賞 短編アニメ賞受賞作品

(協力 株式会社ロボット)

監督：加藤久仁生
 1977年生まれ。鹿児島県出身。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後、(株)ロボットに所属。主なアニメーション作品に「つみきのいえ」「情景」、絵本に「つみきのいえ」「あとがき」「えきのひ」がある。



(c) ROBOT

ギータ

Guida

(11分28秒/ブラジル/2014)

30年間、蔵書係として働いてきた素敵な女性 Guida。ある日、新聞広告で、街の文化センターで行われる絵画教室の「募集」を見つけた彼女は…。
 登場人物達の創造的な感性を通して、芸術性の回復、転機や美しさへの想いとしてのアートを表現します。

監督：Rosana Urbes
 アニメーター、イラストレーター、ストーリーボード・アーティスト。ブラジル国外で8年、うち6年をディズニースタジオに在籍。「リロ&スティッチ」などに関わる。ブラジル帰国後、RR Animation Films を設立。アニメーションの他書籍デザインやイラストを手がける。



(c) RR Animation Films / Rosana Urbes

ハムレット、コメディ。

Hamlet. Comedy. (Гамлет. Комедия)

(5分00秒/ロシア/2016)

怖い先生に引率されて、子供達が演劇「ハムレット」を観に来ました。
 とところが退屈した子供達は、笑ったり壊したり大騒ぎ！

監督：Eugeniy Fadeyev
 1998年モスクワ生まれ。2011年・モスクワ国立測地学・地図学大学(MIIGAIK)建築学科卒。2013~2015年、アニメーション映画学校"SHAR"で学ぶ。



(c) School-Studio "SHAR"

昼下がり

午 Noon

(3分50秒/台湾/2015)

台湾の街の昼下がり、食べ物屋台は開店準備、学生達は学校で昼食と雑談。ビジネスマン達は混雑列車の中。
 みんな忙しい。
 そう、家の中にいる一人を除いては…

監督：Cindy Yang (楊子新)
 国立台北芸術大学卒、現在、カリフォルニア芸術大学・キャラクターアニメーション在学。学生作品 Noon, AND THEN が台北映画祭などの国際映画祭で選出。趣味は旅行や絵画・映画。



(c) Cindy Yang

5分間博物館

The Five Minute Museum ファイブ ミニット ミュージアム

(6分35秒/イギリス/2015)

エルミタージュ博物館の展示を全部見るには、歩いて20km、9年もかかります。
 でも、写真24枚を1秒で見せる映画の魔法を使えば、寝たきりでも病人でも、怠け者でも遠方でも簡単に見ることができます。
 「5分間博物館 The Five Minute Museum」を見て、イングランドとスイスの博物館の展示物を見学。先史時代～現在の歴史を学ぼう。

監督：Paul Bush
 Furniture Poetry (1999)他の作品で多くの映画賞を獲得するコマ撮り実験アニメーションで最も有名な作家の一人。作品は世界のギャラリー等で上映されるほか、2013年には長編映画 Babeldom を公開。教育にも熱心で2003年から国立映画テレビ学校で教鞭を執る他、イタリア・イギリス他世界中で講演を多数行っている。



(c) Schattenkabinett Ancient Mariner Productions

<1ページ目よりつづき>

エラスティカという名の女の子

(3分30秒/カナダ/2012)

A Girl Named Elastika ア ガール ネームド エラスティカ

エラスティカは他とは違う女の子。まず、体がゴムひも！そして彼女の世界はコルクの地面。旅もユニーク！ビルの間をジャンプしたり、1人で海を越えたり、花火のロケットで宇宙へ。1万枚以上のコマ撮りで作られた、エラスティカの冒険ストーリー！

監督：Guillaume Blanchet
 フランス人コピーライター。パリの広告代理店で2年在籍後、2003年モントリオールに移住。言葉を中心とする仕事の中で、監督や俳優、音楽家等と出会い、広告の創造性の一つ"image"の追求を決心、10年間、コマ撮りや短編映画のための情熱を傾ける。人々に制作意図が伝わる映像により、作品を通じた感動の伝達を試みている。



(c) Travelling/GUILLAUME BLANCHET

動画新聞

Animated daily アニメイテッド デイリー (JOURNAL ANIMÉ)

(4分11秒/フランス/2016)

フランスの日刊紙「リベラシオン」の紙面(2015年9月15日~11月15日)の国際記事にインスパイアされ、毎日毎日、リアルタイムに描いた即興芸術(いたづら描き)

監督：Donato Sansone
 フランス芸術アカデミー後、トリノのイタリア国立映画実験センターに在籍。現実に応用されるアニメーション論理に特に関心を持ちビデオを撮り始める。常にアニメーションと実写の間で、作品をビデオアートにリンクさせる傾向を持つ。ミュージックビデオ、短編映画・パブ公演他様々なプロジェクトを実施。



(c) AUTOUR DE MINUIT PRODUCTIONS / Donato Sansone

うさぎとしか

Rabbit and Deer ラビット アンド ディア (Nyuzsi és Öz)

(16分45秒/ハンガリー/2013)

ウサギとシカは仲良く幸せに暮らしていました。しかしある日、シカは「立体」の研究に夢中になってしまい、2匹の友情は危機に。さらに予想もなかった事件で、シカは気づいた時には未知の世界に…!

監督：Péter Vác
 1988年ブダペスト生まれ。アトランタ・ナッシュビル映画祭他、50以上の国際映画祭受賞作 Streamschool, Rabbit and Deer で Moholy-Nagy 大学を修了。MOME 在籍間、ヨーロッパの Viborg で 3D キャラクターアニメーションコースを経て 2013 年より Picasso Pictures animation studio のディレクターに就任。



(c) MOME Anim / Péter Vác

(全8作品)

<お知らせ>

無料上映 絶対15秒アニメーション

11・12日 12:00~16:00 J program

鴨江アートセンター104

無料上映スペース(鴨江アートセンター104)では、「ワンはま2017」「さぬき映画祭ショートムービー」とともに、日本アニメーション協会の会員有志が制作した「絶対15秒アニメーション」を繰り返し上映しています。お時間がありましたら、こちら是非ご覧ください!

絶対15秒アニメーション

40 Animation short pieces, all 15 seconds (by Japan Animation Association)

日本アニメーション協会(Japan Animation Association, JAA)が、数年おきに開催する上映会「イントゥ・アニメーション」。

その第7回(平成29年8月4~7日、国立新美術館)の開催を記念して制作された完全オリジナルのオムニバス・アニメーションです。

日本アニメーション協会に所属する会員有志が、イントゥ・アニメーションの開催回である「7」をテーマに、15秒のアニメーションを制作しました。

(16分02秒 / 2017)



©浅野優子 ©asitanonki ©いがらしなおみ ©bak ikeda, smegANDsynaps
 ©mogi 太郎 ©Hiroco Ichinose / Decovocal ©いわけ育子 ©2016miyukiechigoya
 ©kaku ©ガジェットスター ©Sawako Kabuki ©2017 Yewon Kim
 ©2017 Hakhyun KIM / STUDIO 8 DOGS ©Yutaro KUBO ©Takae Kyanagi
 ©Kotaro Sato, Satory Design ©Purl Purl Anima Lab. ©Yumi Shima
 ©2017 Mika SEIKE ©Studio・Sen ©土田ひろゆき/スタジオペンゴ
 ©ばれんたいん工房 ©長塚美奈子 ©yoshihisa nakanishi ©西内としお
 ©noco yukawa ©ひごねのりお ©2017 Himeda Manabu ©船本恵太
 ©タウンボックス ©細山広和 ©mayamamamamy ©Masatoki MINAMI
 ©Hiromitsu Murakami ©Morishita Yusuke ©Kazuo MORITA ©takamitsu yukawa
 ©横須賀令子 ©YOSHIMURA Eri ©Sachiyo Watanabe